学校番号	１０６

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇自然、自己、社会などを深く見つめ創ろうとする作品の主題を生成し心豊かに創造的な表現をする「絵画・彫刻」と、自然、自己、社会などを深く見つめ創ろうとする作品の主題を生成し生活を美しく豊かにする創造的な表現の「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動を含む「鑑賞」の分野を学習します。
〇主題に合った表現方法の工夫、表現形式の選択、表現材料の工夫、目的や条件を踏まえたデザイン効果などを心がけ、心豊かに創造的な表現に取り組みましょう。時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違や共通性を知り美術文化の理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して，美的体験を豊かにし，生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし，美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な観点から創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「美術Ⅱ」の学習について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、美術Ⅱの授業内容を認識する。	◎			◎	a:１年次の学習を踏まえ、更に深めて行く学習の意欲を高めようとする。 d:美術作品の価値や世界の多様性を知り美しさやよさの質を探り美術文化の理解を深めようとする。	学習活動の様子 ワークシート
	「フェスティバル」をテーマとする絵画表現	[絵画・デザイン] ・テーマをもとにモダンテクニックの手法を利用しながら主題を生成する。 ・主題を基に構想を練り、アイデアスケッチなどにより自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・表現の意図に応じた材料や用具を吟味して使い、主題を追及し、やり切る。 [鑑賞] ・作品の制作意図について発表し、良さについて確認しあう。	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎	a:「フェスティバル」というテーマを基に自己の内面を見つめ感じ取ったことや考えたことなどから、主体的に主題を生成することができる。 b:形体、色彩、構成などを創意工夫して構想を練ろうとしている。 c:表現目的や意図に応じて材料や用具の特性や効果を生かす工夫をしている。 ｄ:テーマに沿った表現が工夫されているかどうか、主題に合わせて色や構図が考えられているか、作品の良さを感じ取ることができる。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
	夏期課題「鑑賞レポート」	[鑑賞] ・展覧会や寺社仏閣、建造物等を見に行き、アート作品から感じたことを自由に文章で表現する。作品を校外に発表する経験を味わう。	◎	◎		◎	a:自身のアート体験について興味・関心を持って文章で書き表すことができる。 ｂ:自己と社会について考え美術の果たす役割について考えることができる。 ｄ:美術作品について深く知り味わうことができる。他者にも伝えることができる。	ワークシート レポート

2学期	生活雑貨のデザイン	[立体デザイン] ・与えられた条件に対して誰がどういった環境で使われるものなのかを意識しデザインを考える。 ・素材である石粉粘土の特性を活かしモデリング・カービングの技法について学ぶ。 ・作品についての意図を他者に伝える。他の人の作品について批評する。	◎ ◎ ◎	○ ○	◎	◎	a:生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件を踏まえて表現する事に関心を持ち主体的に取り組もうとしている。 b:ストーリーを通して伝えようとする内容からデザインの目的、機能、美しさなどから創ろうとする絵本の主題を生成し、表現材料や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて表現材料の材質を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を豊かにする美術の働きや作品の理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート
	イラストで絵巻物	[美術][デザイン] ・修学旅行での出来事を筆や鉛筆、色鉛筆等のイラストで表し、絵巻物に仕立てる。 ・カメラ等を使って絵巻物を鑑賞する。	◎ ◎	◎	◎	◎ ◎	a:絵巻物を参考にその時の出来事を絵に表そうとする。 b:鳥獣戯画や北斎漫画等をもとに線の強弱や濃淡について学ぶ。 c:主題に合わせ最適な描画財を選び工夫し構成を考え、絵巻物に仕立てる。 d:絵巻物の鑑賞の仕方について学ぶ。	ワークシート 制作の様子 作品 鑑賞活動の様子 鑑賞ワークシート
3学期	ポップアップカードづくり	[デザイン] ・贈って喜ばれる飛び出すカードを制作する。 ・季節や贈る人について考えるなど、主題に合わせミューズコットン紙の素材を生かし仕掛けを考える。 ・出来上がった作品について自由に鑑賞し良さを確認しあう。	◎	◎	◎	○	a:条件の中で他者に喜んでもらえるものを意識して考えることができる。 b:飛び出すカードの仕組みを理解しテーマを考えることができる。 c:紙の材質を生かし表現方法を工夫して創造的に表現している。 d:出来上がった作品についてお互い自由に見て意見を伝える。	アイデアスケッチ 制作の様子 作品 ワークシート

※　表中の観点について　a…美術への関心・意欲・態度　b…発想や構想の能力
c…創造的な技能　d …鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について◎を付け、重点的に評価を行う観点には○を付けている。